

医療相談連携室だより

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター
医療相談連携室
2016.6 Vol.02



連携室だより2号の発行に当たって

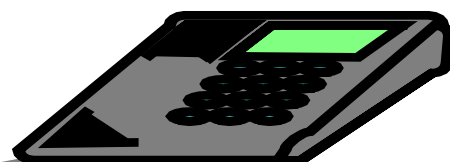
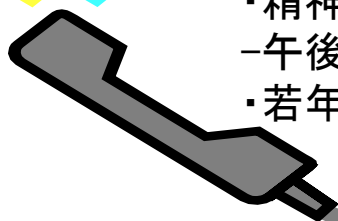
今回は精神科診療の新たな取り組みをご紹介します。精神科の外来枠を午後にも設け受診の枠を拡大しました。また7月からは「m-ECT」を当センターでも開始すべく準備を進めております。

認知症に関しては4月から秋田県の委託を受け「若年性認知症コーディネーター」が医療相談連携室に兼任で配置されております。

リハビリテーション科に関しては、今回の診療報酬改定で新設された「退院支援加算1」を届出しました。連携する施設等との面会が必要とされていますので、今まで以上に各施設との連携を強化していきたいと考えています。今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。（医療相談連携室長 高橋 敏弘）

Contents

- ・精神科診療強化のお知らせ
- 午後外来開設とm-ECT導入について-
- ・若年性認知症コーディネーターについて



＜精神科診療強化のお知らせ＞

—午後外来開設とm-ECT導入について—

精神科外来では4月から月曜日、金曜日の2日間、新たに午後の新患枠を設けました。時代の流れの中で、当院でも地域医療により貢献したいという思いで始めたものです。介護施設を始め、地域の医療機関、行政機関、社会復帰施設等との連携は今後も増えていくと思われ、このような現代の多様なニーズに応えるためには、各曜日の午前の新患枠以上のサービスが必要と判断しました。近年、入院医療から通院医療への転換が求められる中で、外来とデイケア、精神科作業療法と連携していくことにより、患者様の早期社会復帰や地域生活へのスムーズな移行がこれまで以上に可能になるのではないかと考えております。

また、入院診療においては7月からm-ECT(エム・イーシーティ)の導入を予定しております。この治療法は、通電により脳内部の状態を変化させて精神状態を改善しようとするものです。病状によっては服薬よりも短期間で大きな治療効果を期待できる治療法です。この度のm-ECTの導入により、今まで以上にスピーディかつ安全な医療が提供できるのではないかと考えております。そして、精神科救急三次病院としてもこれまで以上に貢献できると感じております。

さらに、このような新しいサービス、医療を導入し、提供し続けていくためには、医師、看護師はもちろんのこと、薬剤師、作業療法士、精神保健福祉士、栄養士、事務職員などによるチーム医療が充実していることが前提になっていることは言うまでもありません。当院では専門知識、技術を持った多職種の医療スタッフが協力し合い、質の高い医療を提供できるよう常に心がけております。また、そのために職場環境づくりにも励んでおり、職員のケア、教育も充実しております。これからも各病院と協力しながら医療の発展に尽力させていただき所存です。今後とも何とぞよろしくお願い申し上げます。

(診療支援部 副部長 精神科医師 須田 秀可)

m-ECT:修正型電気けいれん療法

修正型電気けいれん療法とは、全身麻酔と筋肉のけいれんを起こさなくする薬を使用して電気けいれん療法を行うことを言います。麻酔により患者様が眠っている間に治療をしますので痛みを感じることはありません。また、筋肉のけいれんを起こさなくする薬を使用しますので、全身のけいれんが起こらず骨折や脱臼に代表される合併症を予防できます。

若年性認知症支援コーディネーターについて

平成28年4月1日から、秋田県の委託を受けて、若年性認知症支援コーディネーターが配置されました。
専門の若年性認知症支援コーディネーターが、ご本人やご家族、企業など関係機関からのご相談に対応します。

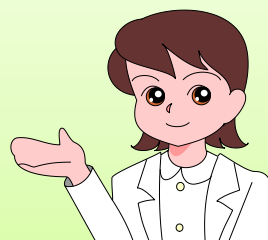
若年性認知症とは？

- ◇ 65歳未満で発症した場合、若年性認知症と言います。
- ◇ 働き盛りの世代にも起こる認知症は、社会や家庭で重要な役割を担っている時期に発症するため、ご本人だけでなく、家族の生活にも影響してきます。

こんなことに困ったら...

- ◇ 仕事で失敗が目立ってきた
- ◇ 専門病院を探している
- ◇ 会社を退職したので収入がなく不安
- ◇ 仕事をしたい
- ◇ 家から出る機会がない
- ◇ 介護に疲れてしまった
- ◇ 子どもの養育に不安がある
- ◇ 職場や施設での支援の方法が分からない

...若年性認知症支援コーディネーターにご相談ください。



若年性認知症支援コーディネーターとは...

若年性認知症の方のニーズに合った関係機関や制度・サービスの担当者との「調整役」になります。

◇ 医療・福祉関係機関とのコーディネート

- ・近隣の医療機関などについて情報提供します。
- ・支援の方法について一緒に考えます。

◇ 社会保障(経済的な援助)のコーディネート

- ・医療費助成や障害年金など各種社会保障の情報をお伝えするとともに、手続きを支援します。

◇ 就労支援のコーディネート

- ・職場との調整をお手伝いします。
- ・ハローワークや障害福祉サービスの就労支援などの情報をお伝えし、ご本人の状況に合わせて就労について一緒に考えます。

◇ 社会参加に関するコーディネート

- ・お住まいの地域の介護保険サービスや障害福祉サービスなどについて情報提供します。
- ・サービス利用などについて、ご本人・ご家族と相談しながら関係機関と連携し支援します。

◇ 家族の負担を軽くするためのコーディネート

- ・介護保険や障害福祉などの制度やサービスについて情報提供します。
- ・本人、家族を支援する交流会などについて情報提供します。
- ・子どもへの支援は精神的・経済的なことを含め幅広く考えることが必要です。各種制度や関係機関と連携し支援します。



若年性認知症支援コーディネーターへのご相談は...

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

☎018-982-3751(病院代表)

月曜日～金曜日 9:00～16:00(祝日・年末年始除く)

外来診療担当表

※リハ科の木曜日の新患は3人の医師が交代で診察します。月ごとに各医師の診察日が異なりますので医師の指定がある場合はお問い合わせください。

リハビリテーション科

	月	火	水	木	金
新患	-	-	-	横山 荒巻 宮田	-
再来	荒巻	佐山 横山	横山	境	宮田

精神科

※精神科の午後の診察は新患のみとなります。

	月	火	水	木	金
新患	向井 嵯峨	須田	小畑	兼子 佐々木	倉田
再来	倉田 須田 佐々木	小畑 佐藤(隆) 向井	兼子 須田 嵯峨	倉田 向井 嵯峨	小畑 佐々木 〈隔週〉 兼子
〈午後〉新患	兼子	-	-	-	須田

もの忘れ・高次脳障害外来

	月	火	水	木	金
もの忘れ新患	【精神科】 佐藤(隆)	【リハ科】 佐藤(純)	【精神科】 佐藤(隆)	【リハ科】 下村	〈隔週〉 【精神科】 兼子 ・ 向井
もの忘れ再来	-	【リハ科】 下村 ・ 佐藤(純) 【精神科】 佐藤(隆)	【リハ科】 下村 【精神科】 佐藤(隆)	-	〈隔週〉 【精神科】 兼子 ・ 向井
高次脳機能障害	-	-	-	-	【リハ科】 下村

- ・リハビリテーション科、精神科、もの忘れ外来の受診は、全て予約制になっております。
- ・現在受診している医療機関がある場合は、紹介状をご準備いただくとともに、医療相談連携室まで連絡の上、必ず診療予約していただきますようお願いいたします。

電話番号:018-892-3751(代表) FAX:018-892-3816(直通)

医療相談連携室職員

氏名	職名/担当(担当病棟)
高橋 敏弘	室長/高次脳機能障害支援コーディネーター
高橋 聡子	看護師長/退院支援
戸嶋 直子	精神保健福祉士/精神科担当(精神科1病棟/高次脳機能障害支援コーディネーター)
佐藤 亜紀	精神保健福祉士/精神科担当(精神科2病棟)
佐藤 篤	精神保健福祉士/精神科担当(精神科3病棟)
藤田 美雪	社会福祉士/リハビリテーション科担当(リハ科4病棟)
小野 文	社会福祉士/リハビリテーション科担当(リハ科5病棟)
菅原 愛美	精神保健福祉士/認知症担当(認知症6病棟)
戸堀 由貴子	精神保健福祉士/認知症担当(認知症7病棟/若年性認知症コーディネーター)
船木 聡	精神保健福祉士/秋田県認知症疾患医療センター(専従)